

子どもの発達を考える会 演題『子どもの発達と支援との関係』 ～一人ひとりの自立と社会参加を考える～ 川崎医療福祉大学 講師 重松 孝治 先生

9月9日（火）、ライフパーク倉敷大ホールに重松先生をお招きし、御講演をいただきました。保護者の方、福祉関係の方をはじめ、市内の幼稚園、保育園、認定こども園、倉敷市立学校の先生方に受講いただきました。

学校生活のさまざまな場面でつまずきのある子どもたちが安心して学ぶことのできる学級、学校をつくるために、私たちができることはどのようなことなのか、具体的な支援事例をもとに学ぶことができました。



【重松 孝治 先生の御紹介】

大阪府内の特別支援学校（当時養護学校）で教鞭を取られた後、現職である川崎医療福祉大学に着任されました。自閉スペクトラム症（ASD）支援を専門とし、県内の幼稚園、保育園、小中学校での巡回相談、各校園での研修や講演会をはじめ、各団体主催の研修会等でも講師を務めていらっしゃいます。また、倉敷市教育委員会特別支援教育専門家スタッフとして、指導、助言をお願いしています。

《 受講者の感想 》

【小中学校教員】

- ・ 「一人でできることを増やす」のではなく、「自分でできることは自分で頑張り、できないものは助けてもらう」という力を育むことが大切であると学びました。
- ・ 困っていることを言葉にできない子どもたちへの理解を深め、その背景にある困難さを知ることの大切さを認識しました。ヘルプを出せない子どもに対し、見守りながら声をかけ、「できそう」なことに対して支援を行うという考え方で向き合っていきたいです。
- ・ 発達障がいの有無にかかわらず、一人一人の子どもに対する見方が変わり、これまで見過ごしていたことや、自身の指導方法を見直すきっかけとなりました。
- ・ 自分の感情や行動を認め、他者との良好な関係性を築くこと、そして余暇スキルを増やすことの意義を再確認できました。

【保育士】

- ・ 「自立」の概念、特に「支援付きの自立」という視点を深く理解しました。自ら助けを求め、支援を活用しながら、未来に向かって目標を設定し、自立した生活を送ることの大切さを考えるきっかけとなりました。
- ・ 子どもたちが「助けて」と声を上げられること、自分から発信する力を育むことの重要性を感じました。自信をもって助けを求められるよう、園生活を通して発信する習慣を形成していこうと思います。

【一般、保護者】

- ・ 重松先生の明快的話し方により、重いテーマも笑顔で聞くことができ、ありがたかったです。忙しい日常の中では子どもの気持ちの理解が難しいですが、明日から実践できる具体的なヒントが得られました。
- ・ 支援を受ける子どもが「特別」な目で見られない、助け合いのある社会への期待が広がりました。



研修風景

生徒指導研修

演題「生徒指導のこれからを見つめて ～スマホ時代の子ども理解～」

甲南女子大学 講師・(一社)ソーシャルメディア研究会 主席研究員 富田 幸子 先生

11月18日(火) ライフパーク倉敷大ホールにて、富田先生に御講演をいただきました。富田先生は中学校教諭として御勤務された経験をおもちで、教諭時代には「スマホサミット」等にも精力的に取り組まれていました。現在は大学での御勤務だけでなく、子ども自身がネットの問題について考える際の映像資料の作成や、学校を訪問しての情報モラル講演会、教育雑誌への寄稿等、多方面に渡って御活躍されています。

講演では、今現在の子どもを取り巻くネット社会の実態とネット問題との向き合い方について、詳細なデータや具体的な事例を交えてお話いただきました。

「スマホ問題は子どもの心の問題」であり、大人と子どもが一緒になって、社会全体で取り組む問題であることを、リアリティをもって学ぶことができました。



《受講者の感想》

- ・ ネットトラブルは誰もが加害者にも被害者にもなりうることを、また、自分が思っていたよりもネットの常識が変化していることを改めて認識しました。
- ・ 「いじめをしてしまう子ども、ゲームに依存してしまう子どもは、普段の生活で満たされていない」という言葉が印象に残りました。
- ・ 子どもと話のできる大人を増やしていく必要性、また、困ったときに相談に乗れる大人になりたいという思いを、一層強めることができました。

初任者研修(幼小、小中の連携・接続)

第10回初任者研修では、小学校は第二福田幼稚園に、中学校は菅生小学校にそれぞれお世話になり、幼稚園と小学校、小学校と中学校の連携・接続をテーマにした研修を実施しました。円滑な連携・接続について考える貴重な学びの場となりました。



(小学校受講者の感想から)

幼児の「〇〇できる」「〇〇したい」という言葉に対して、幼稚園の先生が「やって見せて!」と肯定的に応じていた姿が印象的でした。私は、学級の児童の発言に丁寧に向き合えていなかったのではないかと気づき、今後はより大切に受け止めたいと思いました。また、子どもの「できた!」をしっかりと認めることが、自己肯定感を高めることにつながると学びました。

(中学校受講者の感想から)

小学校から中学校へと進学すると学校の雰囲気が変わり、子どもたちの様子も少しずつ変化していきます。だからこそ、小学校でどのようなことを学び、積み上げてきたのかということを教師が理解し、子どもたちの力を発揮することができるようにしていきたいと思いました。

時期や年齢、実態に応じて遊びや活動が計画されていることを学びました。一年の中で季節にあった行事や活動があり、そこでただ「楽しかった」で終わるのではなく、全てが次につながっていることに驚きました。経験したことを再現して遊んだり、学級活動に取り入れたりすることで、遊びが学びとなり、学びが積み重ねられていくのだと分かりました。

自分の生活とつながる内容を題材にしていたため、児童が興味をもちながら学習に取り組んでいました。さらに、学級全員で考え合う中で、自ら気づき、問いに対する答えを出そうとする姿が見られました。具体的な場面を重視した指導の有効性を改めて感じました。

幼児教育とのつながりを今まであまり意識することができていませんでした。今回の研修を通して、幼稚園でも友達と協力することやきまりを守って生活することの大切さを学んでいることが分かり、低学年の児童であっても「任せること」をもう少し意識していきたいと思いました。「褒めること」や「子どもの思い」を大切にしていきたいです。



参観した学級の児童は、自分の疑問を解決するために自ら学んでいました。また、給食や掃除なども、静かに集中して取り組むことができていました。小学校でできていることを中学校で伸ばすような関わり方をしていきたいと思いました。

倉敷ふれあい教室の行事



倉敷ふれあい教室では、市内に5つの教室があるという強みを生かして、合同で体験活動を行っています。教室の仲間と協力することの大切さを感じたり、やり遂げた喜びを味わったりすることを主な目的としています。今年度も「自然体験学習」と「スポーツ大会」という2つの大きなイベントを実施することができました。

また、それぞれの教室での日々の活動の中でも、教室の仲間との絆を再確認したり、他教室とのつながりを感じたりして、自己肯定感を高めることができるように心がけています。

ふれあい自然体験学習

< 7/4(金) 倉敷市自然の家 >



【主な活動】

- ・グリーンアドベンチャー（所内散策）
- ・親睦レクリエーション

ふれあいスポーツ大会

< 9/19(金) ライフパーク倉敷 大ホール >



- ・ラジオ体操
- ・風船みこしリレー
- ・玉入れ
- ・スローイングビンゴ
- ・キャッチザスティック
- ・かりびと競争 など

ふれあいクラスマッチ

今年度実施のクラスマッチ課題

- | | |
|------------------|------------------|
| 5月 「スローイングピンポン」 | 10月 「かたかな〜し」 |
| 6月 「一円玉の旅がらす」 | 11月 「たこ焼きくるりん」 |
| 7月 「スローイングドッヂビー」 | 12月 「バブルラップバトル！」 |
| 9月 「コロコロお月見団子」 | |



離れた教室同士で一体感をもてるように、月ごとに「お題」を変えながら、5教室共通の課題に挑戦しています。身近にあるものを活用し、シンプルながらも奥深い課題に取り組み、楽しみながら記録を競い合っています。オンラインで各教室をつないでの中間報告や最終報告も盛り上がります。仲間との関わり方を学ぶとともに、目標を達成することで自分に自信をもつことができる機会になっています。

ふれあい文化祭・ふれあい参観日



- 【倉敷教室】12月 2日（火）～4日（木）文化祭
- 【水島教室】12月10日（水）参観日
- 【児島教室】12月12日（金）参観日
- 【玉島教室】12月 8日（月）文化祭
- 【真備教室】12月 5日（金）参観日

「子どもたちが自ら考え、達成感を味わえるようにする」「学校の先生・保護者の方と子どもたちが関わる場を設定する」この2つの方針のもと、各教室で創意工夫を凝らして、特色のある出し物や作品の展示などを行っています。子どもたちは準備に意欲的に臨み、本番に向けて練習や展示物の製作に取り組んでいます。

倉敷ふれあい教室めぐり

☆☆ 真備教室 ☆☆

「やってみよう」「全力で楽しもう」
をモットーに！

倉敷ふれあい教室真備教室は、真備支所内の保健福祉会館の3階にあります。地域の方の温かい御協力のもと、快適な環境の中で、児童生徒は3人の指導員と共にゆったりのんびり活動しています。周辺には井原線の吉備真備駅や真備図書館、まびふれあい公園、まきび公園等、豊かな自然と歴史や文化に関連した施設があり、散策を楽しむことができます。また、箭田幼稚園や真備陵南高等学校との交流も行っています。

一日の活動としては、「スタディ」と「なかよしタイム」があります。「スタディ」では、各自で進度に合ったワークブックやプリントを用意し、自分のペースで根気よく学習に取り組んでいます。

「なかよしタイム」では、「個の力」「他と関わる力」を伸ばすために、教室内で創作活動、スポーツ、栽培活動、調理実習、清掃奉仕、NETの先生との英語活動、季節ごとの行事等、様々な活動を行っています。また、幼稚園交流や、真備図書館、買い物、散策、バスを使った遠足等、教室の外に出かける活動も行っています。様々なことを体験する中で、できることを増やし、達成感を味わったり協力することの楽しさを感じたりすることができたらよいと考えています。そして、少しずつ自信を積み重ねて新たな一步を踏み出せるように願って、活動に取り組んでいます。

【スポーツ】

【栽培活動】

【染め物】

【まきび公園散策】

【秋の遠足】



☆☆ 倉敷教室 ☆☆

恵まれた教育環境の中で
のびのびと・・・

倉敷ふれあい教室倉敷教室は、くらしきシティプラザ西ビルの8階にあります。窓からは倉敷の街が一望できます。倉敷駅に隣接しており、交通の便のとても良い場所です。

周辺には、倉敷みらい公園、倉敷市立美術館、自然史博物館、倉敷中央図書館、美観地区、倉敷北児童センターなど多くの文化施設や教育施設があり、恵まれた環境の中で様々な活動に取り組んでいます。

「なかよし活動」では工作や手芸、木工などの創作活動、書道やNETの先生との英会話などの学習活動、その他にも映画鑑賞や倉敷みらい公園でスポーツも行っています。地域に出かける活動としては、倉敷中央



【みらい公園】



【創作活動】

図書館での読書、自然史博物館での見学、美観地区の散策、阿知神社での初詣、倉敷駅周辺の清掃活動、公共交通機関を利用した遠足などがあります。

「スタディ」の時間は机に向かい、それぞれ自分に合った学習内容に一生懸命取り組んでいます。

倉敷教室の今年度の目標である「やってみよう」をキーワードに、新しいことにも勇気をもってチャレンジをし、次の活動へつなげていけるように頑張っています。「やってみたらできた」という達成感や、「やればできるんだ」という自信がもてるよう、日々いろいろな活動に取り組んでいます。